

(参考様式4)

事業所名 グループホーム 菜の花 いしやま館

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 2 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 27 40 41	・ホーム生活の中で、職員ペースの声掛けや対応となることが見受けられるため、ホーム生活は入居者様主体であることを意識した対応が必要。	・入居者様の人権や思いを尊重し、それぞれのペースに合わせた支援をおこなうことができる。 ・行動の抑制とならない言葉がけをおこなうことができる。	・身体拘束・虐待研修における学習や確認、注意喚起。 ・スタッフペースの声掛けは入居者様の尊厳の非保持と理解するとともに、言葉使いから虐待に繋がらないための研修を定期的におこなう。 ・入居者様が納得していただける声掛けをおこなう。 ・申し送り時やカンファレンスで職員の対応を振り返り、不適切と感じた際は都度改善していく。	令和6年4月 ～ 令和7年3月
2	2 20 36 45 48	・コロナウイルスの5類移行に伴い、感染対応も緩和されてきたが、地域住民との交流や地域資源の活用、外出支援の機会が乏しく、グループホームとして地域との繋がり構築が必要。	・入居者様の希望による外出支援ができる。 ・グループホームの特有を活かした近隣との交流の機会を増やすため、実効性のある計画をたてる。その中で入居者様が経験してきた交流の記憶を活かす。 ・地域交流も含め、近隣のコンビニでの買い物支援ができる。	・好天時における散歩などを継続する。 ・町内会や近隣住民との連絡交流をおこない、地域行事への参加を促進する。 ・近所の商業施設など馴染み深い場所での買い物支援をおこなう。	令和6年4月 ～ 令和7年3月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。